



10/24

## 時をかけてよみがえったかつての光景 越後村上 町屋通りお披露目会（中央商店街通り）

歴史的町並みを形成するための事業区域内である村上市中中央商店街では、大町・小町・上町通りの景観形成が進んだことから、この通りの呼称を「越後村上 町屋通り」とし、そのお披露目イベントが開催されました。

当日は、着物で参加するお茶会、通りの町屋では演奏会が行われ、多くの観光客と町屋に溶け込む着物姿の人たちで賑わいを見せていました。

現在、大町・小町でこの補助金の活用は47件を数え、市では今後も取り組みを継続し、歴史的な街並み形成の一助を担っていきます。



▲漂う音楽の音色と着物姿が彩を添えました

10/27

## 仕事を知ろう、地域を知ろう！ 荒川高校1年生職業体験（荒川地域）



▲真剣な表情で仕事を学ぶ生徒

荒川高等学校とあらかわ地区まちづくり協議会の連携事業として、荒川高等学校1年生を対象に職場体験が行われました。

この取り組みは、地域の若者が地域の仕事に目を向けること、そして事業者は地域の若者に仕事を知ってもらうことを目的に行われています。

今年、荒川地域の8事業者にご協力をいただき、高校生へそれぞれの仕事の作業内容を説明してもらいました。有限会社伊藤自動車整備工場の村田さんは、「地域に根ざして活躍する事業者をもっと若い人たちに知ってほしい。そして、将来に向かって大志をもって羽ばたいてほしい」と話していました。

11/3

## 親子の親睦をスポーツフェスタで深めよう

### あさひ2021AUTUMNスポーツフェスタ（朝日総合体育館）

NPO法人愛ランドあさひ主催の「AUTUMNスポーツフェスタ」が行われ、大勢の来場者で会場は賑わいました。

会場はブースごとにアトラクションが設けられ、どのアトラクションも行列を作るほど大人気！クラフトコーナーでは自分で作った作品を家族に自慢する子どもたちの姿も見られました。

参加していた子どもたちは「春にも参加したけど、凄く楽しかった。時間いっぱいまで遊びたい」と笑顔を見せ、保護者からは「普段、家ではできない遊びを子どもと一緒にできて良い機会でした」と話してくれました。



▲狙いを定めて的を射抜く参加者たち

11/3

## 魅力ある芸術・文化を披露

### 第26回神林地区芸能まつり（神林総合体育館）



▲神林中学校吹奏楽部の堂々とした演奏

コロナ禍で練習場所や時間が制限されてきた中で、出演した文化協会会員一人一人が今出せる力を出し切り、素晴らしい発表となりました。また、ゲスト出演でNPO法人希楽々のハワイアンフラ、神林中学校吹奏楽部による演奏が行われ、会場は大変盛り上がりしました。

また、会場の一角には文化協会会員の短歌などの作品が展示され、多くの人が見て、喜び、会場に温かい拍手が響く、地域に根付く魅力ある芸術・文化の祭典となりました。

11/6~7

## 新しいチャレンジは大盛況

フードトラックマーケットin笹川流れ（桑川地内）



▲多くの来場者で賑わう会場

弁天岩駐車場（桑川地内）を会場に、山北フードツーリズム委員会が主催する「フードトラックマーケットin笹川流れ」が開催され、およそ700人が来場しました。

「食×笹川流れ」で新たな観光スタイル創出を目的とし、キッチンカーを活用して2日間、県内外から計7店舗が出店しました。

各店舗とも、今回のイベントでは通常メニューのほか、山北食材を活用した商品を提供していただくことに。地元食材の魅力を発信しようと、鯖、鱈、赤かぶ、山葡萄、卵、塩など、山北食材を活用した数々のメニューは、両日とも完売という盛況ぶりでした。

11/7

## 森はアクティビティあふれるフィールド

新しい森づくりのヒント「MokuRinFes」開催（天蓋高原交流広場）



出店者も参加者も楽しむ（Play）、森林・林業の魅力、木のある魅力ある暮らしを伝える（Promotion）、地域の森林業に人・技・思いが加わり可能性を拡げる（Plus）の「P×3」を目的にしたMokuRinFes（モクリンフェス）が試験的に開催されました。

参加者は、木の樹齢当てクイズや地元産木材から抽出したアロマ漂う中でのヨガ、葉っぱ図鑑や森の鉛筆づくりなど、さまざまなアクティビティを体験し、ジビエドックやドリップコーヒーに舌鼓を打ち、竹竿にねじりつけたパン生地を焚火で焼く体験も行いました。

ねらいどおり、参加者はもとより、携わったスタッフも共に楽しめる時間を堪能。主催者は今回のプレ開催を検証し、今後の展開を計画していくそうです。



▲一点ものの図鑑完成



▲樹齢や樹高当てクイズ

11/7

## 地域に根付いた特産品「焼畑の赤かぶ」

焼畑赤かぶ販売会inさんぽく（勝木地内）



▲お目当ての赤かぶをゲット！

山北地域特産品の赤かぶ販売会がさんぽく活性化協議会主催により開催されました。

炎天下での作業など、大変な手間をかけて栽培される山北の赤かぶ。このおいしい赤かぶを求めて多くの人が来場し、午前9時販売開始からわずか30分で完売となるほど盛況でした。

歯触りよく、辛みも感じられる甘酢漬の赤かぶ漬が一般的な食べ方ですが、最近では味噌を加えた和風シチューやマリネなど、新しい料理も目にするようになりました。

いろいろな料理に活用して旬の赤かぶを楽しんでみてはいかがでしょうか。

11/9~25

## 安心・安全な生活道路を確保するために

仮設スムーズ横断歩道の試験設置（村上小学校西側横断歩道）

村上小学校児童が通学路として利用する横断歩道に、スムーズ横断歩道の試験設置が行われました。

この取り組みは、道路上に約10センチの段差のある可搬式ランプを用いた横断歩道を設け、通行車両の速度抑制や横断歩道前の停車を目的に設置したもので、県内では初の試みとなりました。

児童の通学を見守っていた村上小学校松田校長は「このような取り組みが交通事故防止につながってもらえれば、学校としても安心できます」と話してくれました。



▲運転手側も分かりやすい形状と色彩に